

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月7日			
平成15年度	事業コード	21210	電話	042(769)8334
担当部課名	環境事業部	ごみ減量推進課	課	ごみ減量 班
事務事業名	美化運動推進事業補助金			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第2節	リサイクル型社会の構築	63以前年度
施策名	第1施策	リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市補助金等に係る予算の執行に関する規則

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)	
美しくきれいなまちづくりを推進するため、市民参加による美化運動の定着と活性化を図ることを目的とする。		相模原市美化運動推進協議会	
		対象数	1団体
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
歳出事業名	清掃思想普及事業 - 美化運動推進事業補助金		
補助金名	相模原市美化運動推進協議会補助金		
交付先	相模原市美化運動推進協議会		
補助額	2,000,000円		
(4)個別計画の概要		概要	
計画名			
計画年次	年度～	年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	不法投棄防止率	不法投棄量(t) / 市人口(人) × 100	美化啓発活動等の効果を、不法投棄量と市人口の比較により推計する。	12	13	14	15	16
				106	75	78	78	78
活動指標	美化活動実施率	美化ポスター・美化標語応募数(枚) / 市内の小・中学校児童数(人) × 100	活動実施状況を美化ポスター等の応募数と小中学校の児童数の比較により推計する。	49	41	50	50	52

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
		2,250	2,250	2,000	1,700	1,700
	人員・時間数					
	人件費					
	その他経費					
	合計	2,250	2,250	2,000	1,700	1,700
	特定財源					
	対象数	1	1	1	1	1
	対象の単位あたり経費	2,250.0	2,250.0	2,000.0	1,700.0	1,700.0

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	年々補助金額が削減される中、実施方法等を見直しながら例年どおりの活動を実施しているため、達成度は高いと思われる。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 実施事業の多くが市民参加型のものであり、各種事業に参加することにより美化意識の更なる向上が図れる。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	地域清掃や不法投棄防止キャンペーンに参加することにより、まちの美化に対する意識の向上が図られることから、有効であると考え。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	協議会は自治会や老人会、その他多くの団体で構成されており、これら団体が協力してまちの美化に努めることにより、市内全域を対象とした美化活動を実施できる。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	協議会は自治会や老人会、その他多くの団体で構成されており、これら団体が協力し、市内全域を対象とした隔たりのない活動が実施できる。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： ごみ問題について取り組む身近な学習の場としての位置付けを強調し、市民参加を積極的に呼び掛けていくことにより、更なる美化意識の向上を図ることが期待できる。	手段	参加記念品の配布について見直す。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 協議会が実施している事業の多くは、市民参加型によるもので、ごみ問題について取り組む身近な場である。そのため、市民の美化意識の向上を図るうえで、今後も補助金の交付を継続し、支援を続けていくことが必要である。 しかし、市民・事業者・行政の相互理解とパートナーシップの構築を進められるよう、活動内容・展開を見直すことにより構成団体のあり方も検討していく。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

・補助金のあり方について見直すこと ・運営に対する市の関わりについて見直すこと
--